

柳生ロマンの里博物館



柳生ロマンの里博物館は一般の観光施設ではありません。個人の仕事場や生活の場が博物館になっています。そのため、**見学は原則予約制です**。また公開内容にも制約があります。見学される人は、「奈良まちかど博物館」の主旨をご理解いただき、マナーを守って見学してください。

なお、専用の駐車場はありません。詳しくは予約の際に各博物館へお問い合わせください。

見学は予約制

マナーを守って見学を!

柳生の里 剣聖



1 柳生焼窯元 井倉柳生堂



陶器全般についての製作工程とその完成品を展示しています。古来受け継がれてきた、陶器造りの技術とその製品の価値を現代に見直した作品を製作しています。

【館長】井倉 幸太郎さん
【住所】〒630-1231 奈良市柳生下町 246
【TEL/FAX】0742-94-0039 (昼)
0742-94-0154 (夜)
【開館日等】不定休
【HP】http://www.yagyuyaki.com
【アクセス】JR・近鉄奈良駅から「柳生」(邑地中村・石打)行きバスで「柳生」バス停下車徒歩 1分。

2 柳生の炭焼



定年を迎え、余生を楽しもうと昔懐かしい炭焼を始めました。有志経験者の努力と頑張りによって柳生の炭が続けられました。毎年冬になると煙が漂います。炭焼の技と心を次の時代へ伝えます。

【館長】広 晴夫さん
【住所】〒630-1231 奈良市柳生下町 38
【TEL】090-5648-7698
【開館日等】公開は、12月～翌4月。(冬の仕事です)
【アクセス】JR・近鉄奈良駅から「柳生」(邑地中村・石打)行きバスで「柳生」バス停下車徒歩 20分。

3 菌床椎茸きのこTei



「安全、安心、自然に近いきのこ」の生産に取り組んでいます。菌床椎茸の栽培、自然培養の様子が見学できます。きのこ狩りの体験も可。

【館長】永井 晴夫さん
【住所】〒630-1237 奈良市柳生町 1484
【TEL/FAX】0742-94-0622
【開館日等】公開は、9月～翌2月頃(きのこ狩りは午前中のみ)。前日までにお電話を。
【アクセス】JR・近鉄奈良駅から「柳生」(邑地中村・石打)行きバスで「柳生」バス停下車徒歩 30分。

4 尾羽根炭窯



昔からの大和炭を作っています。切炭・活性炭・竹炭・果樹炭(梅の種)などの炭や木酢液もつくっています。木炭製造の窯や炭出しの見学ができます。

【館長】田場 一二三さん
【住所】〒630-1236 奈良市大保町 205
【TEL/FAX】0742-94-0792
【開館日等】月に2～3回(窯の見学、炭出しなど事前にお電話を)
【アクセス】JR・近鉄奈良駅から「柳生」(邑地中村・石打)行きバスで「柳生」バス停下車徒歩 45分。

5 木のしごと館



木造住宅の原点があります。原木から製品になる製材工程を見学していただきます。日本建築の伝統工法や材木を展示しています。

【館長】坂西 弘史さん
【住所】〒630-1232 奈良市興ヶ原町 409-1
【TEL】0742-94-0036
【FAX】0742-94-0715
【E-mail】tokuya-j@m4.kcn.ne.jp
【アクセス】JR・近鉄奈良駅から「柳生」(邑地中村・石打)行きバスで「柳生」バス停下車徒歩 30分。

6 木工造形・木漆芸 藤田



木工芸における指物・挽物、削物等の基本技術の中でも、特に削物と彫物による木地作りを行い、拭漆で仕上げます。作業工程の説明を受け、作品をご覧になりながら、木が生きていることを体感してください。

【館長】藤田 茂斉さん
【住所】〒630-1233 奈良市邑地町 429
【TEL/FAX】0742-94-0388
【開館日等】不定休
【アクセス】JR・近鉄奈良駅から「柳生」(邑地中村・石打)行きバスで「邑地中村」バス停下車徒歩 5分。

7 正木坂剣禅道場



柳生新陰流の精神「剣禅一如」に通じる剣道と座禅の道場で、昭和40年、当時の住職・橋本定芳氏の尽力で建立されました。もとは興福寺別当一条院にあった奈良地方裁判所の建物を移築し、正面入口は京都所司代の玄関口を移設した道場を見学できます。タイミングが合えば、道場の内部見学や、住職による柳生新陰流の説明を聞くこともできます。

【館長】橋本 紹尚さん
【住所】〒630-1231 奈良市柳生下町 445
【TEL】0742-94-0204 (芳徳寺)
【FAX】0742-94-0215 (芳徳寺)
【開館日等】年中無休
【アクセス】JR・近鉄奈良駅から「柳生」(邑地中村・石打)行きバスで「柳生」バス停下車徒歩 15分。

8 朴葉すし 久保田亭



朴葉すしとは、朴の木の葉に酢飯・紅しょうが・きょうりょう等をくるんだもの。久保田亭では、この地域に伝わる朴葉寿司を作っており、柳生の郷土料理に触れることができます。

【館長】久保田 弘之さん
【住所】〒630-1237 奈良市柳生町 325
【TEL/FAX】0742-94-0012
【開館日等】不定休
【アクセス】JR・近鉄奈良駅から「柳生」(邑地中村・石打)行きバスで「柳生」バス停下車徒歩 10分。

9 伝統建具 森田指物工房



釘などを使わずに木と木を組み合わせて作られた家具・建具・調度品を指物(さしもの)といい、当工房では、伝統的な日本家屋の必需品である指物を、依頼者の想いを受けて作っています。また、地元柳生の植物を使った帯(ほうき)も作っています。工房の見学では、繊細で優美な職人技術の説明を聞くことができ、希望者には、鹿の角や猪の牙を使ったストラップ作りなども有料で体験していただけます。

【館長】森田 登志勝さん
【住所】〒630-1234 奈良市北野山町 718
【TEL】0742-94-0522 / 090-5163-1219
【FAX】0742-94-0522
【E-mail】umeno_hana1024@hotmail.co.jp
【開館日等】年中無休ですが、見学日時は電話予約の際に調整。
【アクセス】JR・近鉄奈良駅から「柳生」(邑地中村・石打)行きバスで「邑地中村」バス停下車徒歩約 45分。

10 忍術学院 柳生道場



忍術指導者が訓練をしている様子や、観光客などが忍者服を着て、刀、手裏剣、弓などを使った忍術体験をしている様子を見学できます。希望者は、有料で忍術体験をすることもできます。

【館長】澤田 平さん
【住所】〒630-1241 奈良市阪原町 2188
【TEL】06-6974-1186 / 090-8165-2488
【開館日等】公開は、土曜日・日曜日(ただし、不定休のため事前連絡を。)
【HP】http://yagyu.ninpo.jp/
【アクセス】JR・近鉄奈良駅から「柳生」(邑地中村・石打)行きバスで「阪原北出」バス停下車すぐ。

11 農家民宿 十六夜山荘



日本の伝統文化を伝える宿として、日本家屋や今は懐かしい畳の裏を見学できます。希望者には、茶会・和菓子づくりなども、有料で体験することもできます。また、「大和茶」のブランド化とともに、里山づくり体験を通じて、地域と都会との交流を図ることを目的として、任意団体「奈良市の隠れ里Nyu farm実行委員会」を立ち上げ、丹生町での各種体験やイベントを催す活動もしています。

【館長】福岡 美代子さん
【住所】〒630-1235 奈良市丹生町 1400
【TEL】0742-94-0048
【開館日等】年中無休(要予約)
【HP】http://izayoisanso.jimdo.com
(奈良市の隠れ里Nyu farm実行委員会)
【アクセス】JR・近鉄奈良駅から「柳生」(邑地中村・石打)行きバスで「邑地中村」バス停下車徒歩約 45分。

柳生藩の家老小山田氏の屋敷 旧柳生藩家老屋敷(柳生町)



柳生藩財政の立て直しをした家老小山田氏の屋敷です。石垣には天保12年(1841)尾張石工が築いたと記され、柳生藩を知るうえで貴重な資料といえます。昭和39年、作家山岡荘八氏の所有となり、昭和46年放映のNHK大河ドラマ「春の坂道」もここで構想が練られました。昭和55年に同氏の遺志により奈良市へ寄贈されました。市は屋敷を修復し、主屋の一部に資料を展示、一般に公開しています。

【TEL】0742-94-0002

柳生家の菩提寺 芳徳寺(柳生下町)



江戸時代に将軍家剣術指南役として天下に権勢を振るい、柳生藩一万石を治めた柳生家の菩提寺です。正式には神護山芳徳禅寺といい、柳生宗矩が父・宗厳(石舟斎、柳生新陰流の始祖)の菩提を弔うため、1638年に創建、沢庵和尚が開山しました。もとは柳生家の居城で、石段、掘割などが城の名残をとどめています。

【TEL】0742-94-0204

柳生宗厳ゆかりの石 一刀石(柳生戸岩谷)



戸岩谷にある約7m四方の巨石で中央から二つに割れています。柳生宗厳が修行中にこの戸岩谷にわけ入り天狗と試合をした際、一刀のもとに天狗を切り捨てたはずが、刀はその場にあった巨石を二つに割っていた。このいわれから後世に「一刀石」と呼ぶようになりました。

【TEL】0742-94-0002 (柳生観光協会)

観光交流拠点 柳生茶屋(柳生町)



大きな赤い傘が目につく柳生茶屋。都市と農村との観光交流拠点として、柳生地域の観光案内に加えて、飲食店、ツアー、ワークショップなどを実施しています。

【管理者】黒田 篤史さん
【住所】〒630-1237 奈良市柳生町 359-3
【TEL】090-3925-3052
【開館日等】土・日・月曜日 10:00～16:00

歴代将軍を指南 柳生新陰流



江戸時代に栄えた剣術の流派、柳生宗厳が上泉秀綱から新陰流を相伝され、柳生の里で「無刀」の完成を目指して精進し、大成しました。徳川家康に剣術を披露したところ気に入られ、子の宗矩が幕府の兵法指南役として出仕。その後も柳生氏は代々将軍に仕えました。

【柳生家紋(二蓋笠・柳生笠)】もとは、坂崎氏の家紋でしたが、坂崎成正(坂崎直盛)が、千姫事件の際、責を負って自害するときに、友人であった宗矩の説得に感謝して坂崎家の家紋を譲渡したとされます。